

# 第15回 気象教室

## — 異常気象と地球温暖化 —

平成27年8月22日(土) 16.00~18.30

福岡市立中央市民センター(福岡市中央区)

主催:公益社団法人日本気象学会九州支部

共催:福岡管区気象台

後援:一般社団法人日本予報士会西部支部(予定)

### 最近の気象は異常なのか？

廣岡俊彦 教授 (九州大学大学院 理学研究院 地球惑星科学部門)

今年も、九州の各地で50年に一度といわれる豪雨生じています。これに限らず、最近は何十年に一度といわれる現象が増えているように感じられます。今回は、このように身近なところで起こっている現象から、一般の方々にはなじみの薄い現象まで、大気中に生じているさまざまな現象を見つめ、果たして最近の気象は異常なのか、そうだとすると何が原因と考えられるのかを、最新の知見をまじえて、広く検討してみたいと思います。



### 地球温暖化とスーパー台風

坪木和久 教授 (名古屋大学 地球水循環研究センター)

2013年にフィリピンに上陸したスーパー台風ハイエンのもたらした甚大な被害は、スーパー台風の脅威を見せつけました。地球温暖化とともにスーパー台風がどのくらい強いものになるのか、さらにそれが日本にも上陸する可能性があるのかは、防災対策の観点から大きな問題です。私たちは雲解像モデルを用いて、これらの問題に取り組んでいます。今回は地球温暖化と将来台風の強度について重点を置いて、台風についての基本的なことから最新の研究成果までをお話しします。



入場無料、事前申し込み不要、どなたでも参加できます。

地下鉄:「赤坂」2番出口徒歩5分

バス:「赤坂門」徒歩5分、「警固町」徒歩3分

会場の駐車スペースには限りがあります。車をご利用の場合は、周辺の民間駐車場をご利用ください。

